

ルカの福音書 第12章 20節

「しかし神は彼に言われた。『愚か者。おまえのたましいは、今夜おまえから取り去られる。そしたら、おまえが用意した物は、いったいだれのものになるのか。』」

自分の将来のために、自分であれこれと用意し、その物を見渡して自己満足する者への厳しい警告であり、真実です。備える者に、愚か者呼ばわりします。なぜでしょうか。備えの根本姿勢が自己完結型だからです。身のほど知らない愚かな者ということでしょう。十分な備えをしたと思っている者に神は言われます。今夜おまえからたましい、いのちが取り去られるなら備えは虚しいものとなります。たましい、を取り去ることができるお方がいます。たましいの行く末を支配しているお方がいます。物の扱い以上に重要なことにたましいを向けなさいということでしょう。

季節ごとに目を楽しませる花々です。あるものは短い間咲き誇り散ります。他のものは一定期間目を楽しませ、やがて散ってゆきます。ある花は長く咲き、一つの季節を飾ります。花それぞれの寿命は異なります。寿命に沿って咲き、行き交う人々のところを和ませます。過去や将来を推し量ることなく、神のご支配にお任せする自然の美がここに 있습니다。